

愛知県の本づくり産業を基盤とする名古屋経済圏は、自動車産業などの好調を背景に「元気！」と言われ続けています。その中核となる名古屋市は現在、「環境首都なごや」を目指し、環境問題に熱心。それを象徴する施策の一つとして関心が高まってきているのが、一般に環境対策が立ち遅れている中小の事業所を主な対象として2003年3月に創設された「エコ事業所認定制度」です。

2007年にはエコ事業所のなかでとくに優秀で他の模範となる取組を実施している事業所を「エコ事業所優秀賞」として表彰する制度が新たに設けられました。第1回の受賞事業所には2008年2月7日に開催された表彰式および事例発表会において、木製の素晴らしい表彰状等が授与されるとともに具体的な事例が発表されました。そのなかで注目を集めたのが、環境保全活動部門（中小企業・団体の部）で優秀賞を受賞した「キャリア技研株式会社」です。

同社は3次元CADを基盤とする3次元デジタル・エンジニアリングを主要事業とするベンチャー企業で、2001年1月に設立され現在急成長中。最近は産学連携によって電気自動車の共用システムに関する研究開発にも着手。創業者で代表取締役社長を務める富田茂氏は環境問題に造詣が深く、その強力なリーダ



HIROFUMI TANGE

# キャリア技研の エコ事業所優秀賞

丹下博文氏

1950年愛知県生まれ。早稲田大学法学部卒業。同大学院修士課程修了。主に倒産と企業再生を研究。米コロンビア大学修士課程修了。UCLA、米カリフォルニア大学経営大学院および社会公共政策大学院客員研究員。著書に「大企業への潮流（朝日選）」「知の文明（国立印刷）」。環境基礎講座（①）「企業経営の社会的責任研究」（中央経済社）など多数。現在愛知学院大学大学院経営学研究科教授、博士（経営学）。

ーシップのもとで今回の受賞となりました。

受賞理由を一言で表せば、ホームページや会社案内など、あらゆる媒体を通してエコ事業所を発信している点が高く評価されたと言えるでしょう。たとえばエコ事業所の認定や活動の伝承手法を自社ホームページに公開。ベンチャー企業でありながら、社会全体への波及性という観点からは、大企業にも劣らないほどの発信力があると考えられます。

大企業や中堅企業のなかには国際的な環境規格「ISO14001」の認証取得で環境対応が十分と誤解するところがあるようです。多額の資金と多くの人材を投入して環境管理システムを構築しても、その実効性や顧客満足が担保されるわけではありません。まして環境対応に関する発信力は、組織が大きくなったからといって強くなるとは限らないのです。

キャリア技研のエコ事業所としての強い発信力は、このことを裏付けた点で非常に大きな社会的意義があるわけです。

## キャリア技研(株)

〒453-0013

名古屋市中村区亀島2-6-16 大升ビル

電話 (052) 454-0495・0497

URL : <http://www.calio.co.jp>